

## 公益社団法人日本学生陸上競技連合 平成27年度事業計画

### (事業目的)

公益社団法人日本学生陸上競技連合(以下、「この法人」という。)は、日本の学生陸上競技界を統括し、かつ代表する学生の競技団体として、学生陸上競技の普及・振興を図り、学生の心身の健全な発達と明るく豊かな学生生活の形成に寄与することを目的とする法人である。

### (基本方針)

以上を目的とし、本年度は次の3点を軸に事業計画を策定した。

(1) 学生陸上競技に関する競技会を円滑に開催する。

(2) 学生陸上競技界の競技力向上を図るため、競技者の国際競技会への派遣及び外国の学生競技者の国内競技会への招致を積極的に推進する。

## ■公益目的事業

### 公1ー競技会

No.	競技会	期日	場所	種目数	参加校・参加数	備考
1	2015日本学生陸上競技個人選手権大会	2015年 6月12日(金) ～14日(日)	Shonan BMW スタジアム平塚	男子18 女子18	110校…650名 100校…600名	スポーツ振興基金助成金を申請
2	秩父宮賜杯第55回 実業団・学生対抗陸上競技大会	2015年 7月25日(土)	Shonan BMW スタジアム平塚	男子10 女子9		【後援】 文部科学省(予定) 秩父宮賜杯 <総合優勝> 内閣総理大臣杯(予定)<総合優勝> 文部科学大臣杯(予定)<男子団体優勝> 厚生労働大臣賞(予定)<女子団体優勝> →申請予定
3	天皇賜盃第84回 日本学生陸上競技対校選手権大会	2015年 9月11日(金) ～13日 (日)	大阪/ヤンマースタ ジアム長居ーヤ ンマフィールド長居	男子22 女子22	115校…950名 110校…800名	【表彰】 天皇賜盃 <男子総合優勝> 秩父宮妃杯<女子総合優勝> スポーツ振興基金助成金を申請
4	第27回出雲全日本大学選抜駅伝競走	2015年 10月12日(月・ 祝)	出雲市 45.1km 全6区間		国内…23チーム 海外…1チーム	【後援】 文部科学省(予定) 【表彰】 内閣総理大臣杯(予定)<優勝校> 文部科学大臣賞(予定)<優勝校> →申請予定
5	第33回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会	2015年 10月25日(日)	仙台市 38.0km 全6区間		(25)校+1チーム (東北学連選抜)	【後援】 文部科学省(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
6	秩父宮賜杯第47回 全日本大学駅伝対校選手権大会	2015年 11月1日(日)	名古屋-伊勢 106.8km 全8区間		(25)校+1チーム (東海学連選抜)	【後援】 文部科学省(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
7	2015全日本大学女子選抜駅伝競走	2015年 12月(未定)	富士宮市 富士市 43.4km 全7区間		21チーム(予定)	【後援】 文部科学省(予定) 【表彰】 文部科学大臣杯(予定)<優勝チーム> →申請予定
8	第19回日本学生ハーフマラソン選手権大会	2016年 3月6日(日)	立川市		1200名	
9	第10回日本学生20km競歩選手権大会	2016年 3月20日(日)	能美市		男子…80名 女子…30名	
10	第19回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	2016年 (未定)	(未定)			

公2-1 育成 ①競技者育成(競技会派遣)事業

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	第28回ユニバーシアード競技大会	2015年 7月8日(水)～ 12日(日)	光州 (韓国)	男子…23名 女子…9名 役員…12名 アテンドスタッフ2名(予定) ※日本陸連U23費用で事前合宿の設定も検討
2	香港インターシティー2015 台北国際陸上 ヨーロッパ転戦	未定	香港、台北他	各遠征 男女各3～4名 役員…各1～2名 日本陸連U23強化費による遠征
4	2015国際千葉駅伝	2015年 11月23日(月・祝)	千葉市	男子…4名 女子…4名 役員…3名 招待による学生チーム編成
5	第51回千葉国際カントリー大会	2016年 2月14日(日)	千葉市	【主催】 公益財団法人日本陸上競技連盟 →共催として参画
6	第30回福岡国際カントリー大会	2016年 2月27日(土)	福岡市	【主催】 公益財団法人日本陸上競技連盟 →共催として参画
7	第20回世界大学クロスカントリー (20th WUC Cross Country)	2016年 (未定)	イタリア (Cassino)	男女各4～5名 役員…各3～4名 日本陸連U23強化費による遠征

公2-1 育成 ②競技者・指導者・審判育成事業

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	競技力向上のための巡回指導	3回	各地	地区学連からの要請により、講師を派遣
2	競技者育成費用負担	2大会		北日本インカレ30万円、西日本インカレ50万円
3	ドーピング・コントロールテスト	4回	各地	公益財団法人日本アンチ・ドوپング機構及び 公益財団法人日本陸上競技連盟との連携により競技会検査を実施
4	新規B級審判員資格認定	各地区で 講習会を実施	各地	1,400名 (男子…1,000名 女子…400名)
5	学生審判員研修会	2回～	各地	
6	第61回指導者会議 (仮称：日本学生陸上フォーラム)	2016年3月5日予定	未定	

公3-1 調査・研究

No.	事業	期日・回数	場所	備考
1	陸上競技の研究調査	年4回		「陸上競技研究」の発行 日本スポーツ振興くじ助成申請予定
2	第14回陸上競技学会	年1回		共催として参画
3	第61回指導者会議	2016年3月5日予定	未定	
4	2015年日本学生記録集の発行(記録年鑑)	2016年3月		1,000部発行 学生50傑、主催大会、関連競技会

■法人管理部門

組織力管理

No.	事業	期日・回数	場所	備考
1	第15回理事会 第16回理事会 第17回理事会 第18回理事会	5/23(土) 6/07(日) 9/10(木) 12/12(土)	東京 東京 大阪 東京	臨時理事会を行う場合もある
2	第6回定時社員総会	6/07(日)	東京	臨時社員総会を行う場合もある
3	平成27年度学生役員会議 第41回学生幹部役員研修会	年1回 12月12日 年1回 3/3～3/5	東京	
4	会報の刊行	年3回		各回 1,000部(正会員、名誉会員、役員、地区学連加盟校に配布) 内容 事業の報告、会議議事録等
5	ホームページの運営	随時		日本学連公式ホームページ・携帯サイトの運営
6	会員の入会受付	2015年度		正会員…135名 普通会員(学生)…19,200名 (男子…14,600名 女子…4,600名) 名誉会員…50名 賛助会員…20名